

渡辺 博 ひろし

市政報告

公式ホームページ

渡辺ひろし

検索

<http://hirosidesu.net/>

仙台市議会 〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7の1
TEL 261-1111

自宅 〒983-0841 仙台市宮城野区原町二丁目1の35
TEL 293-2313 FAX 792-9061

ごあいさつ

仙台市議会議員

渡辺 博

皆様お元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。私もおかげさまで健康に恵まれ元気に市政推進に取り組むことができいております。さて中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は瞬間に世界的な広がりを見せました。残念なことに日本政府の水際での懸命な防疫体制も功を奏さず新型コロナウイルス国内侵入を許すことになりました。

新型コロナウイルスはわが国の社会経済そして政治的にも大きな影響を及ぼすことになりました。国民一人ひとりの生活そして人生にも大きな影響を与えました。

新型コロナウイルスで亡くなられた方そして後遺症で苦しまれる皆様方に心からお悔やみとお慰めを申し上げます。

さて令和2年度令和3年度と仙台市議会定例会が8回開催されましたその都度登壇し市政の課題を中心に市長として市担当者と議論を重ね市民の皆様の福利向上に努めて参りました。その端をここにご報告いたします。

議論のポイントは市民の福利の向上につながる議論になっているか市政発展に効果のある議論になっているかどうかそして多くの仙台市民の皆様方のお役にたつ議論になっているのであります。

常に、助けの必要な市民を見逃してはいないかを心がけて参りました。

更に東北の発展も念頭に置き東北に住む皆様方と共に未来を開くこととして成果につながる事を心に置きながら歩んで参りました。政党政派に拘らず『市民生活第一』と言う視点で各議案につき是々非々の判断をして参りました。

今回は令和2年度令和3年度各定例会における所属会派の代表の質疑そして私の一般質問をまとめて報告させていただきます。

紙面の都合上主なる項目の掲載になりますことをお許しください。詳しくは議会ホームページ『会議録』をご覧くださいませようお願いいたします。

なお本会議場あるいは委員会場の質問の様子を録画でもご覧いただけます。

議会ホームページ『会議録』で『渡辺博』と検索していただけますとご覧いただけます。

また、私の公式ホームページ『市政一貫』も見やすくリニューアルしましたので、こちらもご覧いただければ幸いです。

引き続き仙台市民の安全安心の確保並びに福利の向上に向けて力を入れて取り組んで参ります。今後ともご意見ご提案を賜りますようお願い申し上げます。

以下、URLで閲覧いただけます。

① 仙台市議会 <http://www.gikai.city.sendai.jp/>

② 会議録 → ③ 質問者 渡辺博

昭和62年4月 初当選 現在9期

プロフィール

仙台市立榴岡小学校
仙台市立宮城野中学校
宮城県仙台第一高等学校
宮城教育大学 特設教員養成課程(高校数学)一学年修了
東北工学部卒業



2019.8.26 議員章交付

これから
ふるさと
仙台のために

初心忘るべからず

是非の初心、時々の初心、老後の初心 「花鏡」

仙台市議会

仙台市青葉区国分町 3-7-1 仙台市議会内 ☎ 022-214-8716 Fax 022-711-5687
 仙台市議会 HP ⇒ <http://www.gikai.city.sendai.jp/>

会派自由民主党

会長挨拶

仙台市議会会派自由民主党所属渡辺博議員の市政報告が発行されるにあたりひとことご挨拶申し上げます。
 渡辺博議員は仙台市議会のベテランでございます。定例会そして委員会で市民の代表としての視点を大事に発言し課題解決に真正面から取り組んでおられます。常に市民の福利向上、安全安心の確保を念頭に政策提言をそして市政のチェックを怠らない方でございます。

令和2年そして令和3年の仙台市政は郡和子市長の再選そして議会の再編と激動の時期でございました。現在、新型コロナパンデミックは仙台市政に大きな影響を及ぼしています。1日も早く仙台市民生活の安定をはかり且仙台市政の発展を加速させなければなりません。渡辺博議員のご活躍を期待する所以でございます。

仙台市議会にあって大切な1人である渡辺博議員に今後ともご意見ご要望を頂きますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

会派会長 岡部 恒司

仙台市議会 自由民主党会派(14人)

| | | | |
|-------|---------|---------|-----------|
| 会 長 | 岡 部 恒 司 | 副 会 長 | 高 橋 正 卓 |
| 幹 事 | 菅 原 良 介 | 政 調 幹 事 | 高 橋 藤 葉 |
| 副 幹 事 | 高 内 千 猪 | 政 調 幹 事 | 渡 辺 博 |
| 副 幹 事 | 計 又 | 副 幹 事 | 赤 間 次 彦 |
| 副 幹 事 | 加 藤 啓 和 | 副 幹 事 | 西 澤 文 彦 |
| 副 幹 事 | 加 藤 啓 和 | 副 幹 事 | 野 田 本 啓 一 |
| 副 幹 事 | 加 藤 啓 和 | 副 幹 事 | 橋 本 啓 一 |

市政推進のための基本的な政策

市政推進のための基本的な政策をもとに仙台市長に提言するとともに、年4回の定例会、毎月開かれる常任委員会での質疑を通じ政策の実現に努めています。

I 市政に対する基本認識

- 1 防災環境都市として更なる復興の発信とG7誘致
- 2 新型コロナウイルス感染症の再拡大の防止と収束に向けた対策の徹底
- 3 アフターコロナを見据えた地域経済のV字回復と、投資的支援策を推進
- 4 全世代にわたる社会保障の充実
- 5 教育環境の充実と次世代育成施策の推進
- 6 DX推進と未来に誇れるイノベーション・脱炭素の都市づくり
- 7 防災・減災施策の充実、災害に強い安全安心な都市づくり

II 市政推進上の基本的な政策

1 防災環境都市として更なる復興の発信とG7誘致

主な取り組み

- (1)官民連携組織を立ち上げ、戦略的な誘致活動の実施
- (2)グローバルMICE都市にふさわしいまちづくり、警備体制の強化
- (3)市民を挙げての誘致活動のための市民への周知広報と啓発

2 新型コロナウイルス感染症の再拡大の収束に向けた対策の徹底

主な取り組み

- (1)医療提供体制の確保
- (2)ワクチンの接種体制の強化
- (3)これまでの取組への経験と知見を踏まえ、より効果的な接種体制の構築
- (4)幼稚園・保育所等、小中学校、高等学校、特別支援学校、児童福祉施設への感染症対策を積極的に推進
- (5)継続的に安定した財政運営と財政基盤の確立強化

3 アフターコロナを見据えた地域経済のV字回復と、投資的支援策を推進

主な取り組み

- (1)いまだに続いている、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にある事業者に対する投資的支援策の強化と、地域リーディングを生み出す事業者へ徹底的な集中支援
- (2)農林水産業の輸出強化・成長力強化、米の需要安定等に向けた支援
- (3)中小企業の事業再構築、生産性向上
- (4)本社機能や大型資本を有する外資系企業誘致の促進
- (5)GoToトラベル事業やイベント再開支援などコロナ禍の影響を強く受けた観光業と文化芸術の立て直しを含めた支援の充実
- (6)世界防災会議等の国際会議の誘致を促進し、観光復興へ
- (7)東北の豊かな資源を活用した広域周遊による域内観光の活性化と、東北一体となった情報発信による国内外からの誘客促進

4 全世代にわたる社会保障の充実

主な取り組み

- (1)保育の受け皿整備
- (2)保育所、幼稚園、放課後児童クラブ等におけるDX化の推進
- (3)虐待防止のための情報共有システムの構築
- (4)高齢者が安心して暮らせる環境の整備
- (5)女性が働きやすい環境づくりと、活躍機会を増進するための施策推進

5 教育環境の充実と次世代育成施策の推進

主な取り組み

- (1)個別最適な学びを実現するためのGIGAスクール構想の推進
- (2)いじめの未然防止、早期発見対応の一体的な推進
- (3)不登校の未然防止と民間フリースクールとの連携、更に全中学校へのステーション設置を促進
- (4)特別支援教育における学習環境や支援体制の整備
- (5)コミュニティ・スクールの更なる推進
- (6)就学の機会が失われた方々のための公立夜間中学校の早期開設
- (7)学校教育施設の改築とともに設備の適切な更新

6 推進と未来に誇れるイノベーション・脱炭素の都市づくり

主な取り組み

- (1)科学技術、イノベーションへの投資の一環として、「次世代放射光」施設の関連産業振興と企業立地の促進と、研究開発拠点や関連企業の立地・集積の促進
- (2)スーパーシティ構想の実現
- (3)豊かな自然、歴史、文化、祭り、スポーツイベントなどの活用等で、仙台に世界中から人を呼び込む施策を拡充
- (4)分散型エネルギーシステムの構築、適切なルールに基づく再生可能エネルギーの普及。また公共施設の断熱化などの低炭素技術を積極的に導入。
- (5)マイナンバーカードの普及促進
- (6)自治体情報システムの標準化・共通化に向けた環境整備。
- (7)RPA導入、利活用を通じた行政手続き、市民サービス、地域・経済活動等のデジタル化を推進。

7 防災・減災施策の充実、災害に強い安全安心な都市づくり

主な取り組み

- (1)防災環境都市づくりの推進強化
- (2)原油高騰により、石油・ガスなどの持続的な供給支援の確保
- (3)消防防災力強化に必要な資機材整備・デジタル化の推進
- (4)個別避難計画の作成など災害対応のデジタル化の推進
- (5)無電柱化を含む道路インフラの局所対策
- (6)情報通信、エネルギー、上下水道等のライフラインの耐災害性の強化

渡辺 博 ひろし

(宮城野区)

代表質疑・一般質問抜粋



仙台市議会 定例会

一般質問 特別委員会 質問

～令和2年～ 定期定例会

2020年 第2回定例会 (令和2年6月9日～6月25日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 留学支援事業の拡充と幼少期からの支援体制づくり
- 大学の知見の積極的な活用
- 保健師等職員の健康とモチベーション維持への配慮を
- 道路照明施設整備の取り組み
- 除雪業務の持続可能性確保

会派代表質疑

新型コロナへの対応の検証と今後の市政・財政運営

問 新型コロナへの油断は第2波につながる。学校の休業など、市長のこれまでの意思決定過程を検証し、コロナ禍を踏まえた当面の市政運営と中長期的な財政運営を進めていくことが必要だが、今後どのように進めていくのか伺う。

答 これまでの対応と課題を検証・総括し、その知見・教訓を踏まえ、機を逸することなく施策を打ち出し、第2波に万全を期す。総合計画への反映等についても中長期的視点から検討する。また、国への要望も含め多様な手法による財源確保に努め、次年度に向けて歳入状況の推移を見ながら、事業を組み立てていく。

PCR検査体制拡充と衛生研究所の転移新築

問 本市のPCR検査体制拡充と、衛生研究所の移転新築に当たっての機能の充実などについて、所見を伺う。

答 全自動PCR検査機2台等を今後導入し、1日に可能な検査数が80件から240件になる。移転新築については、新型コロナ等の新たな健康危機管理にも対応可能な機能を備えるよう設計を進めていく。

その他の主な質疑項目

- 緊急経済対策の評価と今後の展開
- 宮沢橋の橋梁工事の進捗と課題
- 学校休業による諸課題の解消と児童生徒・教員の負担軽減
- いじめに関する和解と対策の徹底
- 生活困窮者自立支援事業について
- 他地域を先導するような環境行政
- コロナ禍を踏まえた総合計画と都市計画マスタープランの策定

2020年 第3回定例会 (令和2年9月4日～10月7日)

☆渡辺ひろし一般質問

- コロナ禍の長期休校で児童生徒の学習環境の差による学びの格差を懸念。解決に標準学力検査を活用すべき。
- 市民の交通安全確保のため、ビッグデータを活用した取り組みをさらに広げるべき
- 自転車の安全利用に関する条例の効果を感じない。啓発強化とヘルメット義務化検討を。
- 本市にある多くの文化財を活用し、仙台の魅力創出を

会派代表質疑

アフターコロナを見据えた今後の財政運営について

問 新型コロナが本市に及ぼす影響が見通せない中、中長期的な視点の下、歳入アップと歳出削減の両面での再検討が必要。次年度の予算編成と、コロナ禍の先にある時代の変化に耐えうる財政基盤をどのように構築していくのか伺う。

答 国への財政支援の働きかけや予算の厳選重点化に加え、さらなる基金の活用も視野に入れ、次年度予算編成に着手する。また、地域経済の持続的な成長による税源涵かんよう養や不断の歳出削減等に着手に取り組むことで、持続性のある財政基盤の構築につなげていく。

農業を軸とした新たな産業振興の可能性

問 優れた農産物の産地であり東北の中心都市である本市が、東北の生産者と連携し、商品開発や販路拡大に取り組むことで、農業を軸とした新たな産業振興の可能性が生まれ、域外からの投資促進にもつなげると考える。本市の農業政策の今後の方針について伺う。

答 本市では、東部地区を中心に作物のブランド化等が進んでいるが、今後、新商品開発など6次産業化に向けた取り組み等の本格化が必要と考えている。先進技術の導入等による生産性・収益性の向上や東北地方のポテンシャルを生かした広域的な取り組み等も視点に入れながら、次世代につながる産業となるよう取り組んでいく。

その他の主な質疑項目

- 仙台市基本計画および社の都環境プランの中間案について
- 運動部活動における感染症対策
- 浸水対策の進捗と被害軽減策

☆決算等審査特別委員会(渡辺ひろし分)

- 災害時、確実に分散避難できるよう、懇切丁寧な説明を
- コロナ禍における市民活動の再開に向け、具体的に使いやすいガイドラインの作成を
- ひとり親家庭への支援の強化
- 策定中の再犯防止推進計画の実効性確保に努めよ

2020年 第4回定例会 (令和2年12月3日～12月18日)

☆渡辺ひろし一般質問

- コロナ禍における児童生徒の教育格差の拡大防止を
- 他団体と連携した学校運営
- 児童クラブの役割の認識
- 教育現場で市民協働の実践を
- 市民福利向上のため、本市のあるべき都市像の早期提示を
- 学びの場として公園の活用を
- 緑化行政の見直しと展開

会派代表質疑

音楽ホールに係る宮城県との連携・慎重な判断を

問 音楽ホールの建設については、コロナ禍の財政状況も踏まえ、宮城県との連携を強く、同様の施設である県民会館の建て替えも考慮し、一度立ち止まって慎重な判断をすることを求める。

答 県との連携は重要であり、これまでも情報共有を図ってきた。両施設は、適切な役割分担のもと、それぞれ整備することが望ましく、今後、施設の詳細を詰めていく段階でさらなる情報共有を図り、双方の役割を十分発揮できるよう連携して対応したい。財政状況は非常に厳しいが、音楽ホールは多くの市民から整備を望まれており、財源確保策や事業手法等を十分に精査し、検討を進めていきたい。

いじめ実態調査における教育による回答改ざん問題

問 七北田小学校の講師によるいじめ実態把握調査の回答内容改ざん問題への所見を求める。また、第三者のチェックなど、再発防止の取り組みについて伺う。

答 いじめ防止対策は本市の最重要課題であり、子どもを守る立場の教員が行ったことを重く受け止め、申し訳なく思っている。学校組織として複数の目でチェックすること、用紙の保管も方針等を定めて対応することについて、学校に周知する。

その他の主な質疑項目

- 中心部震災メモリアル拠点の整備
- 青葉山公園と大手門復元整備
- 新型コロナ感染症拡大防止策
- 介護事業所へ本市独自の支援策を
- 仙台市DX推進計画とデジタル化
- 新仙台市基本計画等と都心再構築
- 森林環境譲与税に関する取り組み

～令和3年～ 定期定例会

2021年 第1回定例会(令和3年2月8日～3月12日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 市と県の二重行政を解消せよ
- 仙台駅東地区整備とまちづくりの主体として仙台市は役割と責任を十分に果たせ
- 環境保全米など減農薬、減化学肥料農業の推進を図れ
- 「(仮称) せんだい支えあいのまち推進プラン」に組み入れた再犯防止効果を期するため関係機関と緊密な連携を

会派代表質疑

事態打開の契機と期待されるコロナワクチン接種の取り組み
 ワクチン接種への不安をしっかりと解消することが重要。接種体制など、国の通知を待つだけでなく、市が主体的に取り組むべき。

答 医療従事者確保や接種の利便性を踏まえ、診療所での個別接種と集団接種を組み合わせた体制で行うなど、市民が安心し、円滑な接種が図れるよう努めていく。

市長と知事の連携による市内音楽ホール等課題解決
 地元経済団体から音楽ホールの立地は定禅寺通周辺が望ましいとの提言がなされた。県民会館跡地を活用し、音楽ホール等整備を検討するなど、市長と知事の連携協力により課題解決を図るべき。

答 本市が主体的に県民会館移転後の土地の利活用を検討したいことを知事にも直接伝え、共に進めることを確認した。音楽ホールの建設地は、新型コロナウイルスの動向や厳しい経済状況も踏まえ判断したい。

その他の主な質疑項目

- 時短要請の総括と今後の想定
- 経済対策第6弾の狙いと効果
- 保健所体制強化と危機管理局
- 新仙台市基本計画の確実な実行
- まちづくりに必要な投資を確保しつつ財政基盤の確立を
- いじめ対策と不登校児童生徒への取り組み、35人以下学級の効果
- (仮称) 仙台市DX推進計画
- 中心部震災メモリアル拠点整備
- 仙台城大手門復元期間の短縮化
- 市民や地域経済へ継続的にプラスとなるガス事業民営化
- 青葉区北部をカバーする消防出張所の改修時期と救急隊配備
- 市長公約の達成状況と自己評価

☆予算等審査特別委員会(渡辺ひろし分)

- 危機管理局を設置するにあたり、警察など外部の専門家の知見を活用すべき
- 地区集会所借上補助制度の交付年限撤廃と補助対象拡大
- 歴史的、文化的価値のある野草園は市民の宝。さらに磨き上げ、市内外に発信を。

2021年 第2回定例会(令和3年6月8日～6月23日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 教育行政における地域との持続可能な連携の重要性
- 放課後等学習支援員事業の拡充による教育格差の解消
- 初動対応での新型コロナへの認識の甘さを振り返り、今後の危機管理に生かすべき
- 109万市民の代表として一党一派に偏らない市政運営を

会派代表質疑

新型コロナ対策として「コロナマナー」の定着を
 本市の多くの市民の強い協力を得られたからこそ、感染再拡大を抑え込めていることを踏まえ、事業者へのアプローチに加えて、利用者である市民に向けて三密回避などの「コロナマナー」の実践の呼び掛けと、その定着を図るべき。

答 事業者側の対策と利用者側の正しい行動が相まって持続的な感染拡大防止が可能となることから、これまで以上に利用者への啓発や発信を行う。市民自身が「コロナマナー」は当たり前という認識を強く持って取り組むことが重要であり、全市一丸となって感染症対策の定着を図っていききたい。

政令指定都市の市長への権限・財源の移譲
 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく知事の権限について、交付金などの財源と併せて、政令指定都市の市長に移譲できるよう、国に対して求めていくべき。

答 指定都市市長会として数次にわたり国へ提言や要請を行っているが、新型コロナ対応について同法が初めて適用された経験を振り返りつつ、引き続き指定都市市長会と連携し、県と指定都市との間での適切な役割分担について、財源移譲も含め、国に求めていく。

その他の主な質疑項目

- 新型コロナワクチン接種事業の課題とその対応
- 子どもを産み育てやすいまちの実現に向けた子ども・子育て支援
- ウィズコロナの下での屋内外のイベント開催の支援
- 民間オフィスビルの空調環境整備
- 市長の4年間の総括とリーダー像

2021年 第3回定例会(令和3年9月9日～10月12日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 地域の高齢化進行等の課題がある中での公園等の維持管理
- 「社の部仙台」という看板を掲げる本市の緑化行政に対する市長、副市長の認識
- 防犯カメラの設置補助事業の評価と更新等の取り組み
- 交通指導隊の存続のため、隊員全員を対象とした意見聴取等、抜本的な取り組みを
- コロナ禍での学習指導、部活動への対応と家庭等との連携
- 本市の全国学力・学習状況調査と本市標準学力検査の状況

会派代表質疑

市長が2期目に重視する施策は何か
 市民や地域経済が先の見えないコロナ禍での暮らしに疲弊し、不安を募らせている今こそ、未来に希望を抱くことができる施策が強く望まれていると考える。市長が2期目に重視する施策について伺う。

答 女性や若い世代の社会的孤立の防止や子育て支援に加え、スーパーシティ構想や都心再構築等、選ばれるまち・仙台の実現に向け取り組む。コロナ禍による社会変容にも市民と連携しながら的確に対応し、活力とにぎわいに満ち、笑顔が咲き誇るまちの実現に尽力する。

ガス事業民営化に向けた今後の対応
 適切な優先交渉権者なしという結果から、ガス事業民営化に当たり、市が「公」として求めたものと、応募者が「民」として考えたことに大きなずれがあったと読み取れる。答申内容も踏まえ、これまでの進め方の検証が必要だが、市長の結果の受け止めと今後の対応を伺う。

答 ガス事業の民営化は、事業の持続的な発展はもとより、市民サービスの向や地域経済活性化に資するとの思いで進めてきたことから、大変残念。年内を目途に客観的検証を進め、民営化の目的実現には何がベストかという観点で、民営化の取り組みを進める。

その他の主な質疑項目

- 本市の医療体制に大きな影響を及ぼす4病院の2拠点再編について、県にしっかりと意見を述べよ
- 時短要請に協力しない事業者に焦点を当て、より強い取り組みを
- 新型コロナウイルスワクチン接種の見直し
- 教育現場における新型コロナ対応

☆決算等審査特別委員会(渡辺ひろし分)

- 児童クラブ事業含め、社会全体で子どもの居場所づくりを
- 市民の行政需要に応える産学官民連携の仕組みづくり
- 関係局が一丸となって、仙台駅東部のまちづくりの推進を
- 市民の安全・安心、生命を守るため、県による病院再編に対し、具体的な提言をすべき

2022年 第4回定例会(令和3年12月2日～12月17日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 家庭ごみの集積所におけるトラブル・事故発生時の対応と適切な管理体制の維持
- 市民の安全・安心の確保のため、犯罪発生時の迅速な情報伝達と伝達範囲の拡大を
- 元寺小路福室線整備にも寄与する「緑の回廊」の実現
- 能楽堂の設置と幼少期から能に触れ、学べる環境の整備

会派代表質疑

G7関係閣僚会合の誘致について
 2023年のG7関係閣僚会合の誘致について、本市開催で見込まれる効果と本市のさらなる飛躍に向けた市長の決意を伺う。

答 G7開催の効果は、経済のみならず、本市の知名度やグローバルMICE都市としての評価の向上と、本市が目指す「The Greenest City」のまちづくりに資する。誘致により、本市の国際的な発信力を高め、コロナ後の交流人口拡大や地域経済活性化につながる強い決意で取り組む。

交流人口ビジネス活性化戦略の取り組み
 観光・経済支援やGoToトラベル事業等の需要喚起の取り組みと、今後の交流人口回復と経済活性化のための方向性を持った取り組みの推進を。

答 新たな交流人口ビジネス活性化戦略では、旅行消費額やリピーターの増加など質を重視し、仙台・東北の文化等を体験するローカルツーリズム等で滞在時間延伸や旅行者の満足度向上を図る方策等、交流人口の早期回復と交流人口ビジネスのさらなる発展につながるよう取り組む。

その他の主な質疑項目

- 新型コロナ対応および4病院再編
- 米価下落に対する米農家支援
- 過剰在庫米のフードバンクや子ども食堂への提供の拡充支援
- コロナ後を見据えた取り組み
- 公共交通運行継続支援と地域交通
- 音楽ホールの立地場所の選定
- 監監市民センター等の複合化
- 仙台工業団地の移転と移転に伴う地下鉄東西線沿線の地域活性化
- ガス事業民営化の検証